

FTDI 社

# Windows XP インストールガイド

平成 25 年 10 月  
ジーエルソリューションズ株式会社

## 1 概要

本ドキュメントでは、FTDI 社のドライバを Windows XP にインストールする手順について説明しています。以前はダイレクトドライバ (D2XX) と仮想 COM ドライバ (VCP) の 2 種類のドライバがあり、同時に使用することはできませんでしたが、最新バージョンでは、CDM (combined driver model) ドライバとして統合されており、ドライバを入れ替えることなく両方を使用することができます。但し、アプリケーションの実行の際はダイレクトドライバと仮想 COM ドライバを同時に使用することはできず、どちらか一方のみが使用できます。以下に簡単にこれらについて説明します。

D2XX ドライバは、DLL(Dynamic Link Library)を介してデバイスにダイレクトにアクセスします。(ここで、デバイスとは FTDI 社 USB-Serial 変換チップ FT232BM を応用した回路モジュールを表します。) アプリケーションは本 DLL が提供する API(Application Program Interface)関数を使ってデバイスをコントロールします。

仮想 COM ドライバは、PC 標準の Serial COM Port のエミュレーションドライバです。PC に付いている他の Serial COM Port と同じ方法でデバイスとコミュニケーションします。

本ドキュメント内で表示されているデバイス名は NR01-U のものですが、接続する USB リーダによって名前は変わります。

## 2 ドライバのインストール

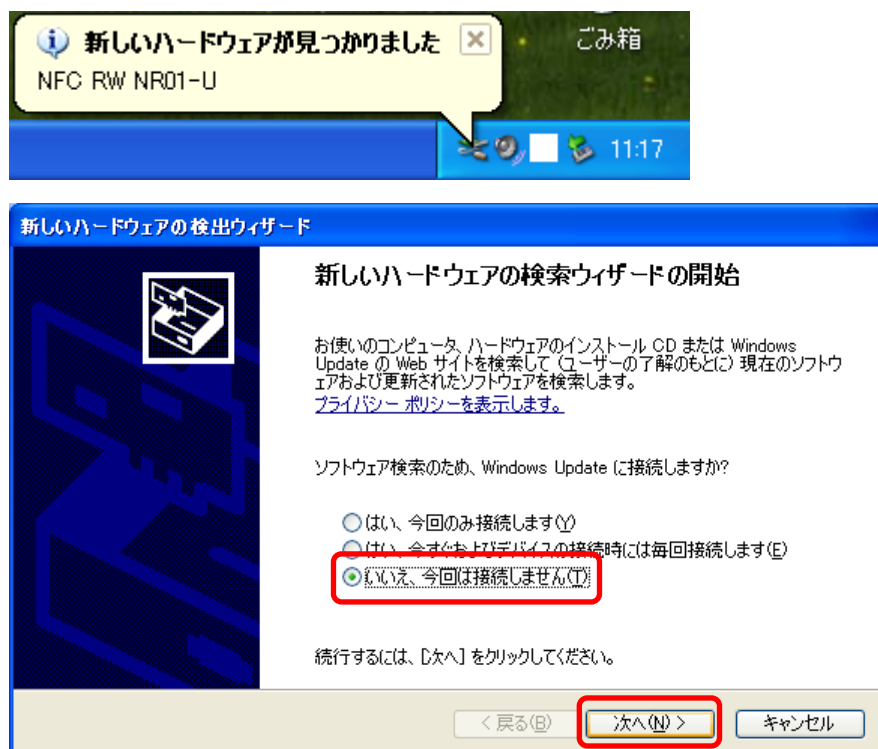
Windows XP の元で FT232BM 搭載のデバイスをインストールするためには、次の指示に従ってください。

- ・既に PC に同じタイプのデバイス (FT232BM, FT245BM, FT8U232AM, FT8U245AM 搭載のデバイス) がインストールされており、新たにインストールしようとするドライバが既にインストールされているドライバと違う場合、元のドライバをアンインストールする必要があります。(詳細はアンインストールのセクションを参照。)

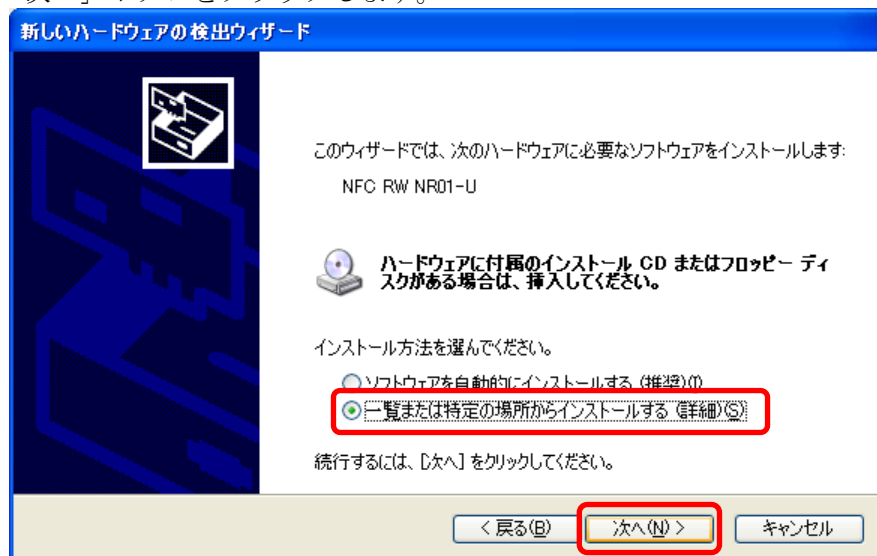
- ・Windows XP または Windows XP SP1 の場合、一時的に PC をインターネットから切り離してください。これは、ネットワークケーブルを PC からはずすか、ネットワークカードを無効状態にすることによって可能となります。ネットワークカードの無効は、コントロールパネルの“ネットワークおよびダイヤルアップ接続”に入り、対応する“接続”上で右クリックしてメニューの“無効にする”を選択することによって行います。この“接続”は、インストールが完了した後、再びイネーブル状態に戻すことが出来ます。これは、Windows XP SP2、または Windows XP SP3 の元では Windows のアップデートへの接続する前に確認するように設定されていれば必要ありません。Windows XP SP2、または、Windows XP SP3 では、コントロールパネルの“システム”に“Windows のアップデート”のための設定を持っています。そこで“ハードウェア”タブを選択して“Windows のアップデート”をクリックします。

- ・PC の空いた USB ポートにデバイスを接続してください。“新しいハードウェアの検索ウィザード”が起動します。インターネット接続が有効になっていないか Windows XP SP2 が Windows のアップデートを要求するように構成されていれば、Windows アップデートに接続するかを問い合わせる画面が表示されます。

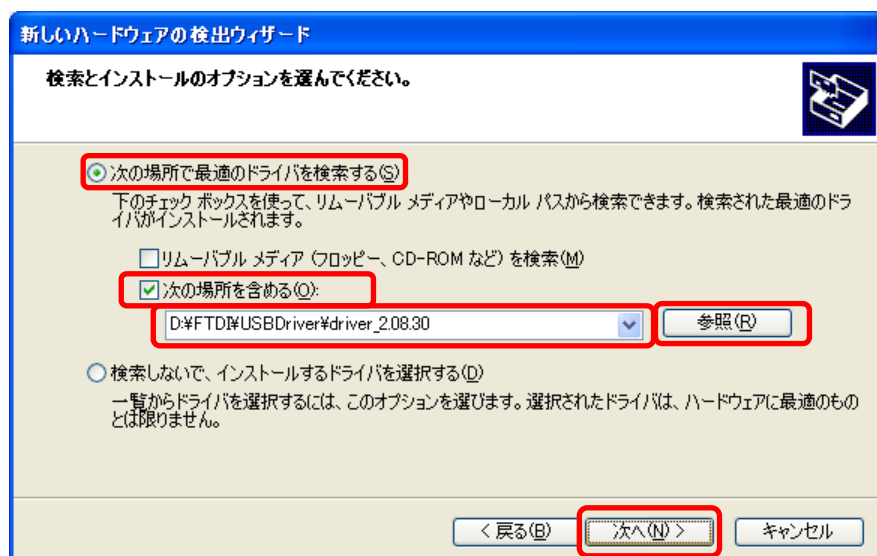
「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



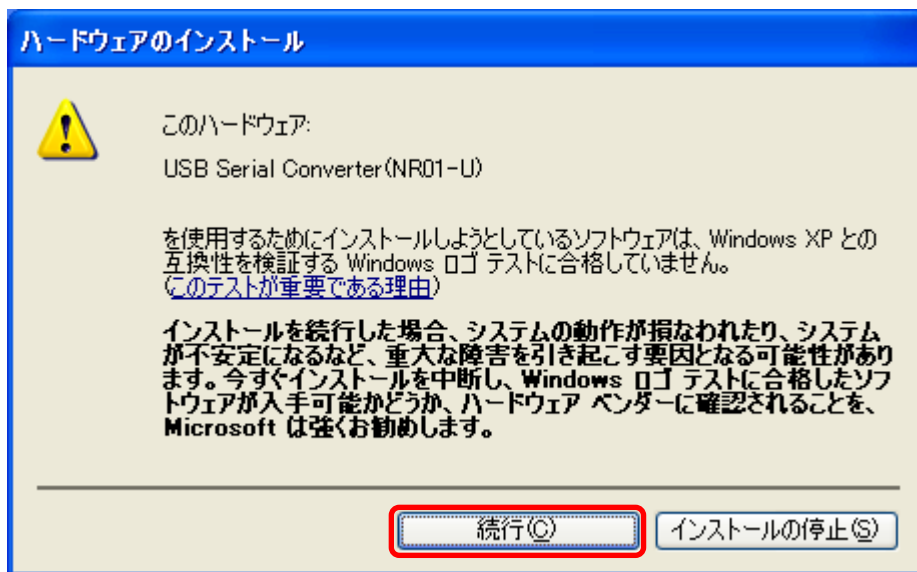
出てきた画面で「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



出てきた画面で「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、「次の場所を含める」のチェックボックスにチェックを入れ、「参照」ボタンを押してドライバのあるフォルダを指定します。CD-ROM 内のドライバの位置は、「FTDI¥USBDriver¥driver\_2.08.30」以下に入っています。「次へ」ボタンをクリックします。



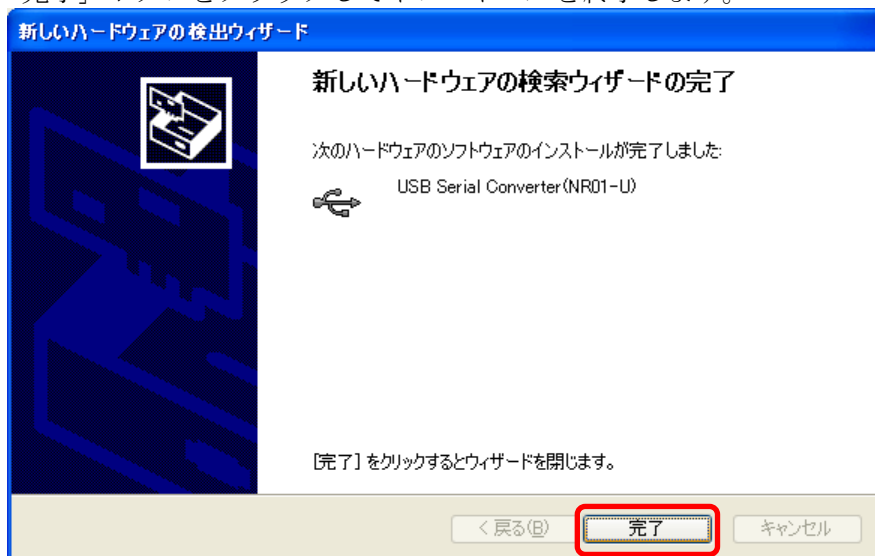
以下のような警告メッセージが出た場合は、「続行」ボタンをクリックしてください。



必要なドライバファイルのコピーが始まり、次の画面が表示されます。

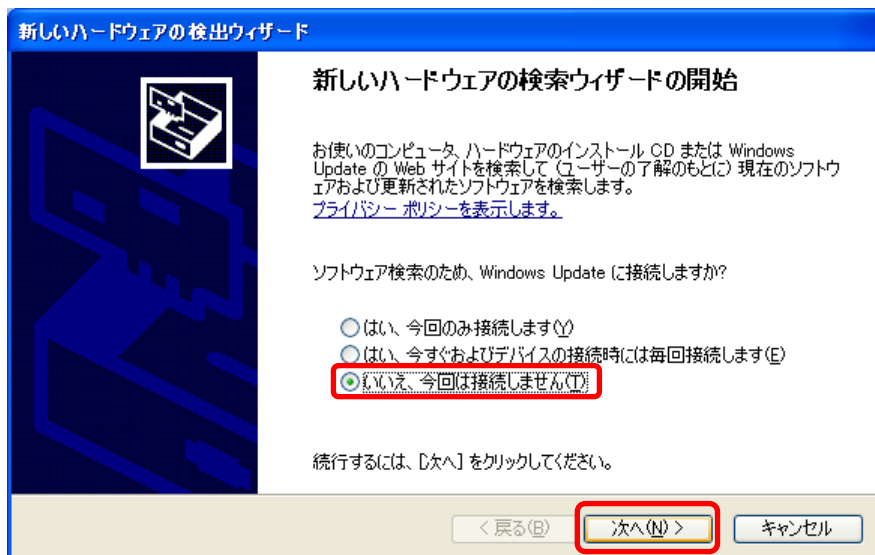
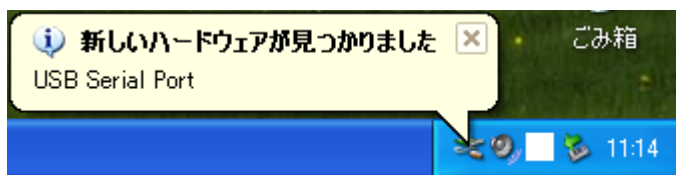


ドライバのインストールに成功すると次のような画面になります。  
「完了」ボタンをクリックしてインストールを終了します。

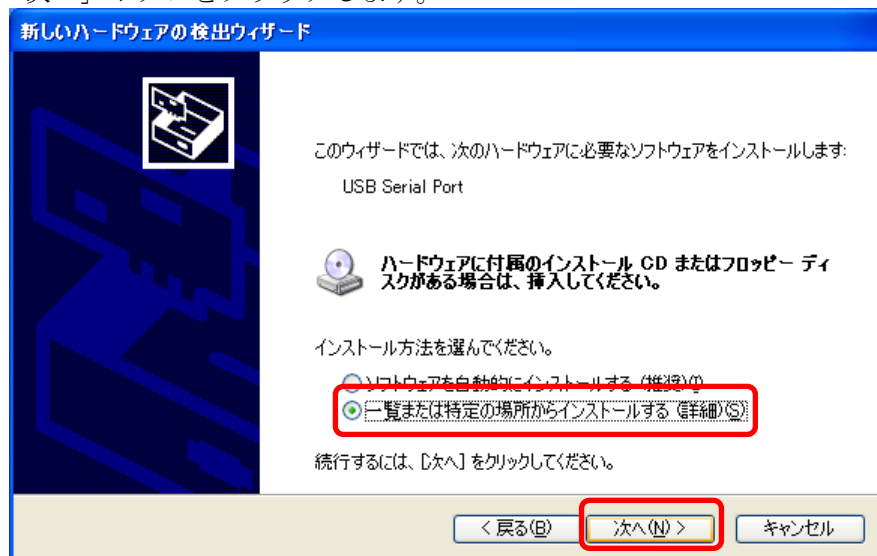


ここまでで、ダイレクトドライバのインストールは完了しましたが、仮想 COM ドライバのインストールはまだ終わっていません。

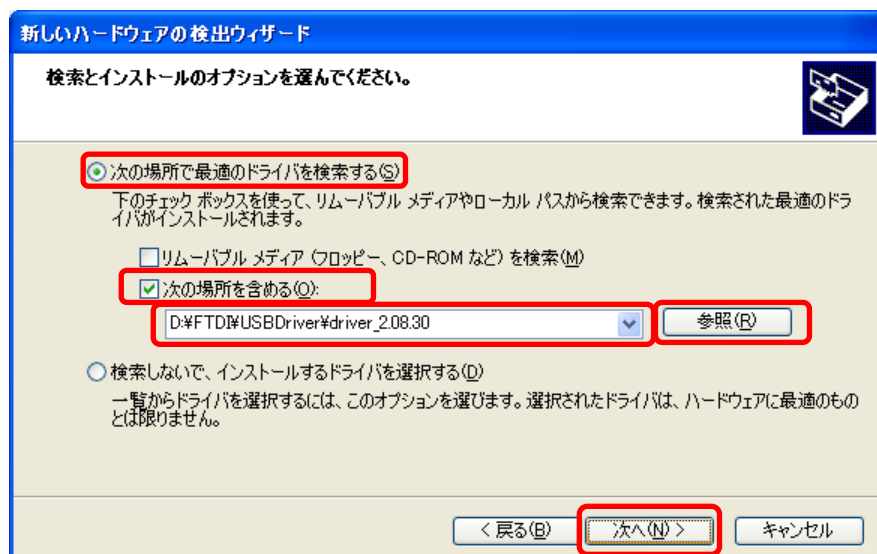
仮想 COM ドライバのインストールが自動的に開始され、以下の画面が出ます。  
「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



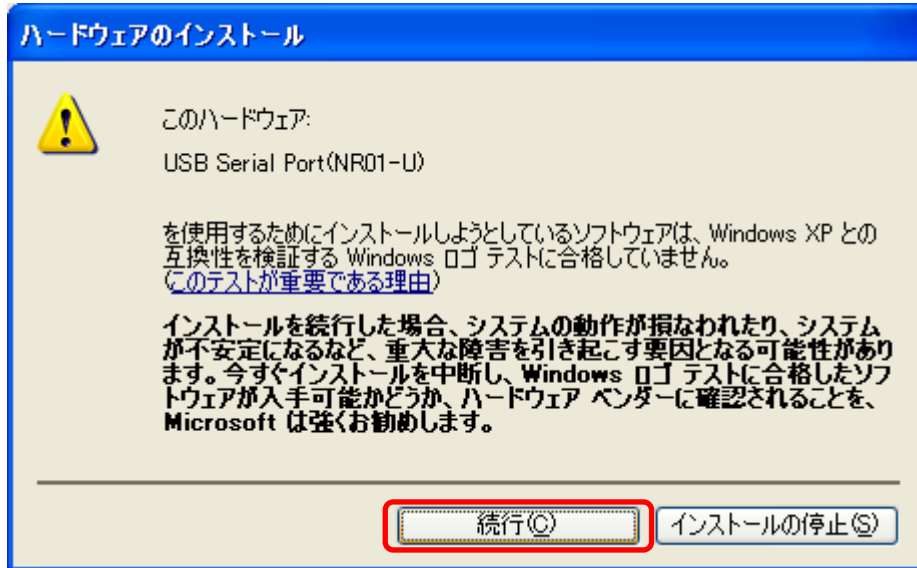
出てきた画面で「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



出てきた画面で「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、「次の場所を含める」のチェックボックスにチェックを入れ、「参照」ボタンを押してドライバのあるフォルダを指定します。CD-ROM 内のドライバの位置は、「FTDI¥USBDriver¥driver\_2.08.30」以下に入っています。「次へ」ボタンをクリックします。



以下のような警告メッセージが出た場合は「続行」ボタンをクリックしてください。

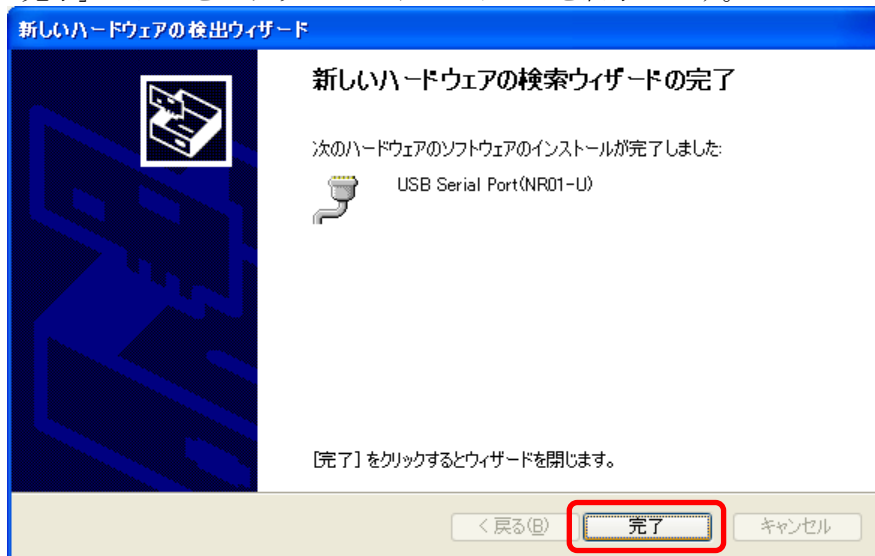


必要なドライバファイルのコピーが始まり、次の画面が表示されます。

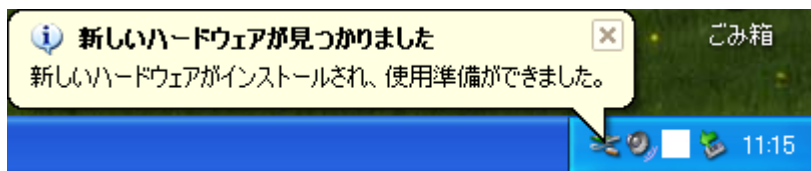




ドライバのインストールに成功すると次のような画面になります。  
「完了」ボタンをクリックしてインストールを終了します。



これでダイレクトドライバと仮想 COM ドライバのインストールが終了しました。



### 3 ドライバの削除

ドライバの削除の方法は二通りあります。

- FTDI 社のアンインストール ソフトウェアを使用した削除方法  
削除するデバイスの「Vendor ID」と「Product ID」が必要になります。  
また、ドライバ本体のファイルは削除されません。
- デバイスマネージャから削除する方法  
機器を接続するか、PC の環境変数を設定する必要があります。  
ドライバ本体のファイルを削除するかを選択できます。

#### 3-1 FTDI 社のアンインストール ソフトウェアを使用してドライバを削除する方法

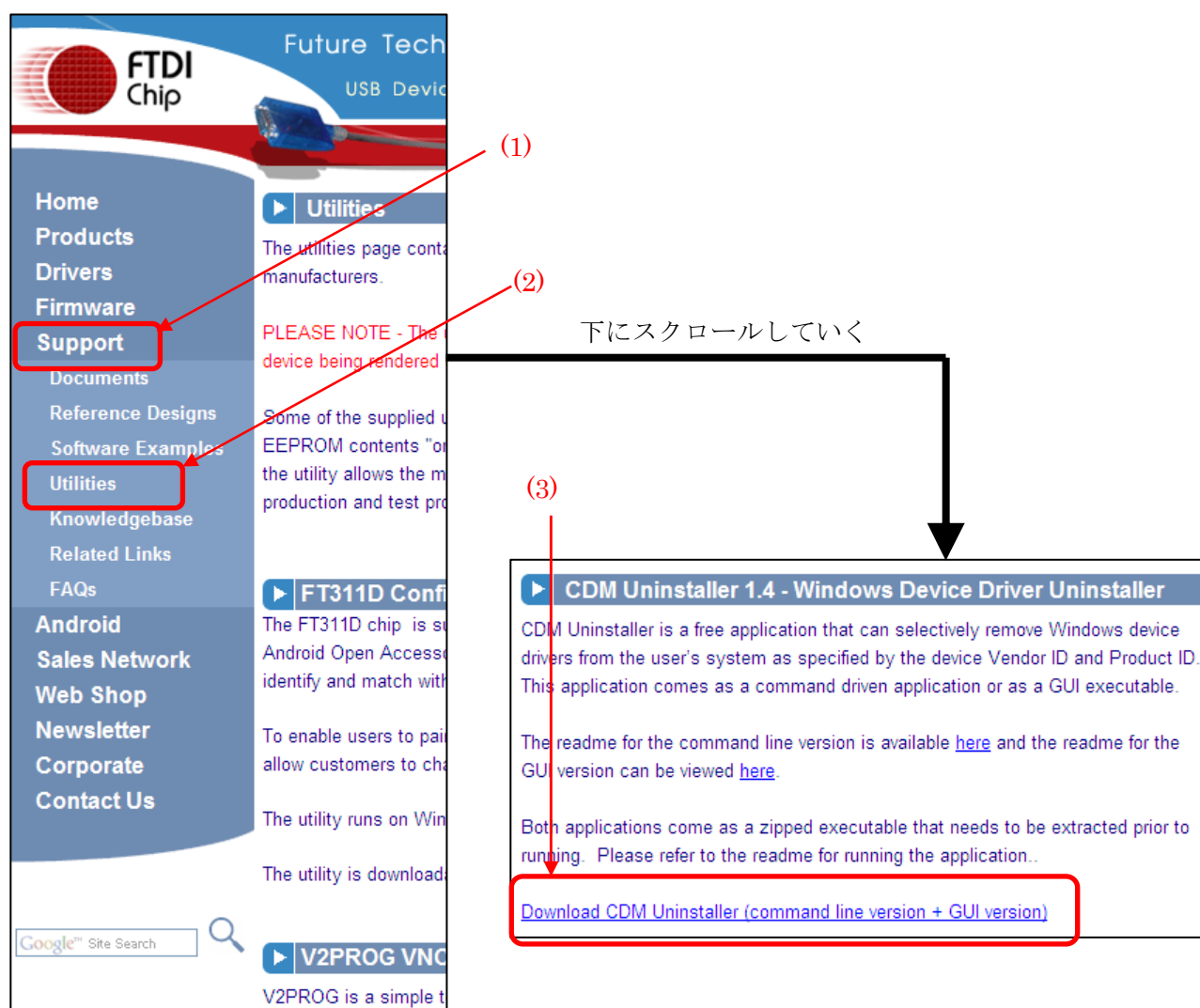
まずは、アンインストール ソフトウェアをダウンロードします。

- (1) FTDI 社のホームページを表示します。

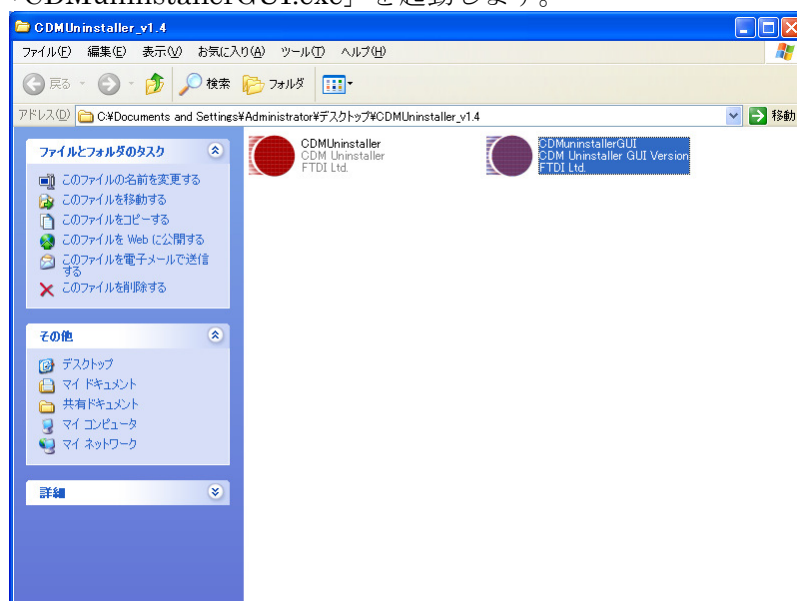
<http://www.ftdichip.com/>

- (2) 「Support」を選択し、その下に出てくる「Utilities」を選択します。

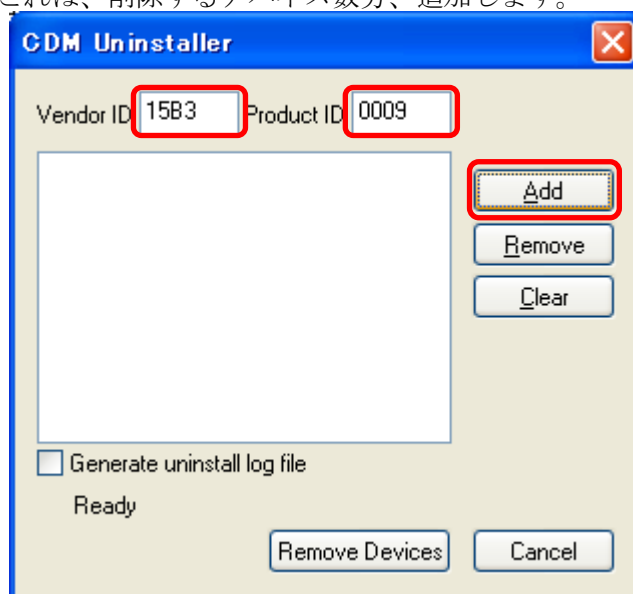
- (3) 「CDM Uninstaller 1.4 - Windows Device Driver Uninstaller」の下にある  
「Download CDM Uninstaller (command line version + GUI version)」のリンクを  
クリックしてください。



ダウンロードが終了したら、ファイルを解凍します。  
「CDMuninstallerGUI.exe」を起動します。



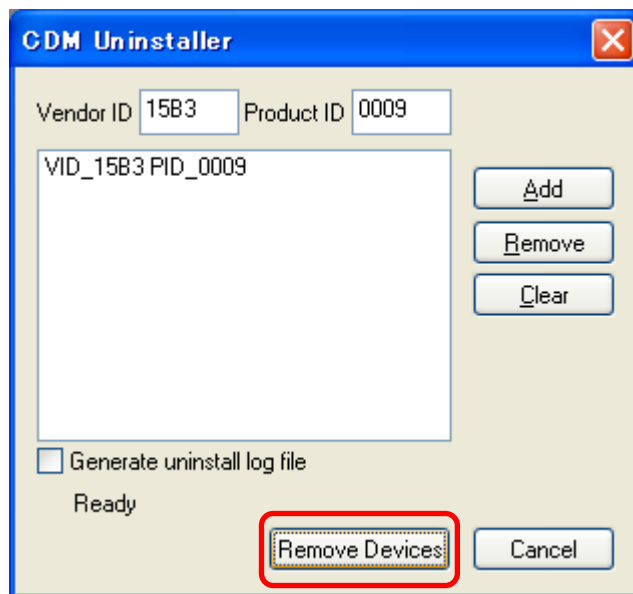
削除するデバイスの「Vendor ID」、「Product ID」を入力し、「Add」ボタンを押します。  
これは、削除するデバイス数分、追加します。



弊社の USB リーダの「Vender ID」と「Product ID」は以下になります。

型名	対応タグ	Vender ID	Product ID
FR05-U	Mifare ( ISO14443A )	15B3	0003
IR03-U	IcodeSLI ( ISO15693 ) / Icode1	15B3	0004
HR10-U	Hitag 1 / 2 / Miro	15B3	0005
NR01-U	FeliCa/Mifare (NFC)	15B3	0009
XR03U-TI	FeliCa / IcodeSLI( ISO15693 )	15B3	000C
XR03U-NF	FeliCa / Mifare ( ISO14443A )	15B3	000D
TR02-U	TIRIS	15B3	000F
TR03-U			

入力が完了したら「Remove Devices」ボタンをクリックします。



削除成功のダイアログがでれば、正常に削除が完了しています。



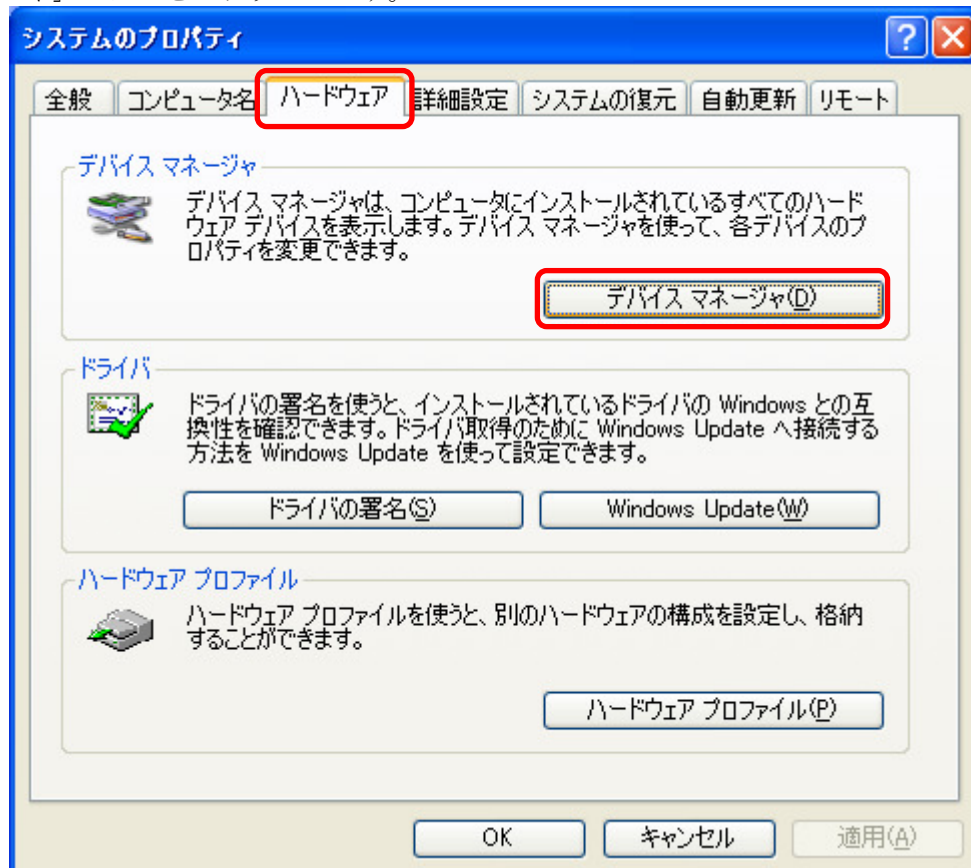
### 3-2 デバイスマネージャから削除する方法

デバイスが手元にある場合は、デバイスを PC に接続します。

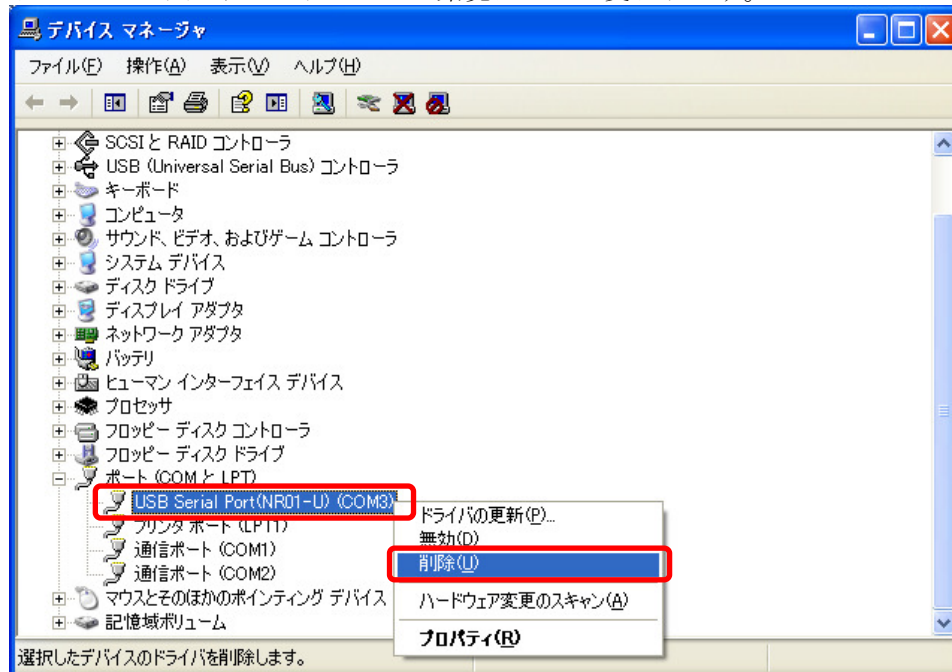
「スタートメニュー」→「マイコンピュータ」を右クリックし、プロパティを選択します。



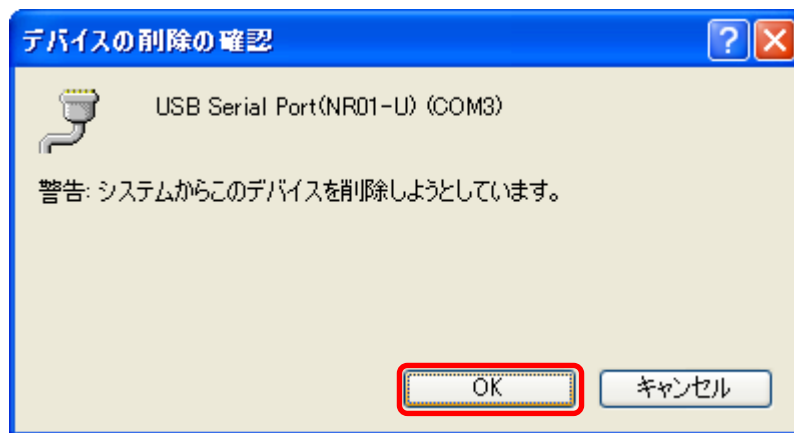
システムのプロパティのウィンドウで「ハードウェア」タブを選択し、「デバイス マネージャ」ボタンをクリックします。



「ポート(COM と LPT)」をダブルクリックし、リストを展開します。  
削除したい COM ポートを右クリックし「削除」を選択します。  
※COM ポートはインストールした環境によって変わります。



出てきたウィンドウの「OK」ボタンをクリックします。



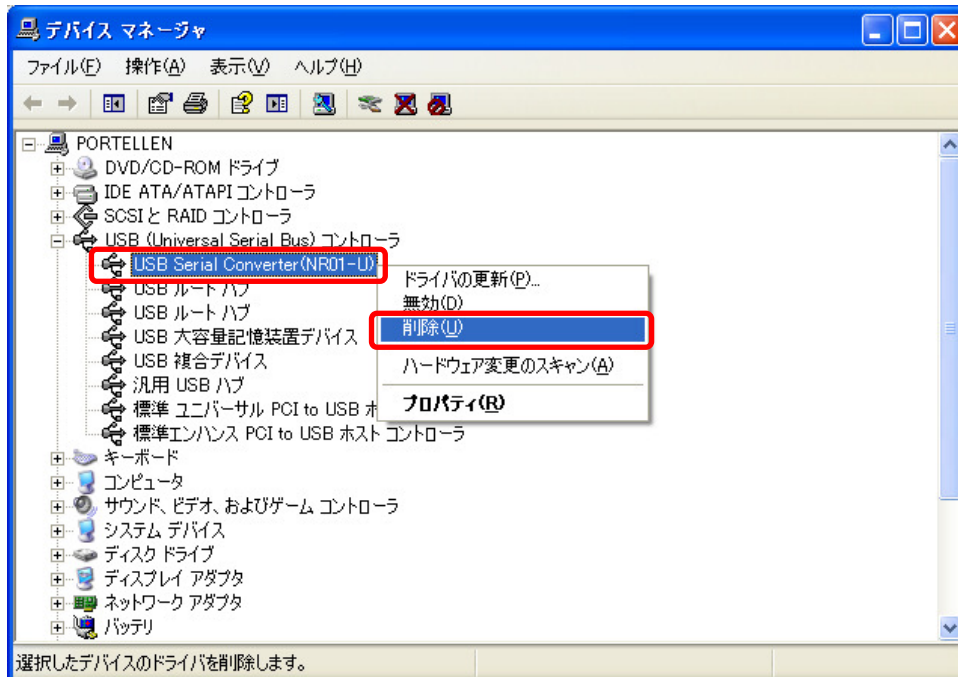
ドライバの削除が終了すると、自動的にデバイスマネージャの画面に戻ります。

以上で仮想 COM ポートドライバの削除は完了しましたが、ダイレクトドライバの削除は終わっていません。

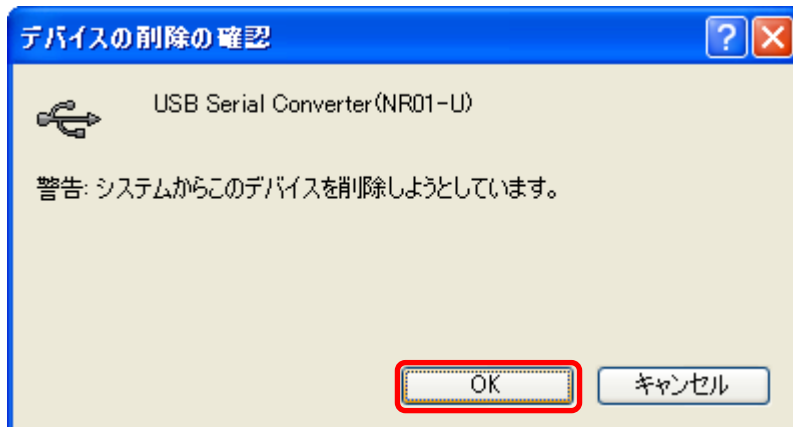
続いて、ダイレクトドライバの削除を行います。  
削除方法は仮想 COM ドライバと同じです。

デバイスマネージャのデバイスリスト上で「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」をダブルクリックし、リストを展開します。

削除したい「USB Serial Converter」を右クリックし、「削除」を選択します。



出てきたウィンドウの「OK」ボタンをクリックします。



以上でドライバの削除が完了します。

削除したいデバイスが表示されない場合は

「5 削除／更新したい COM ポートが表示されない場合」を参照してください。



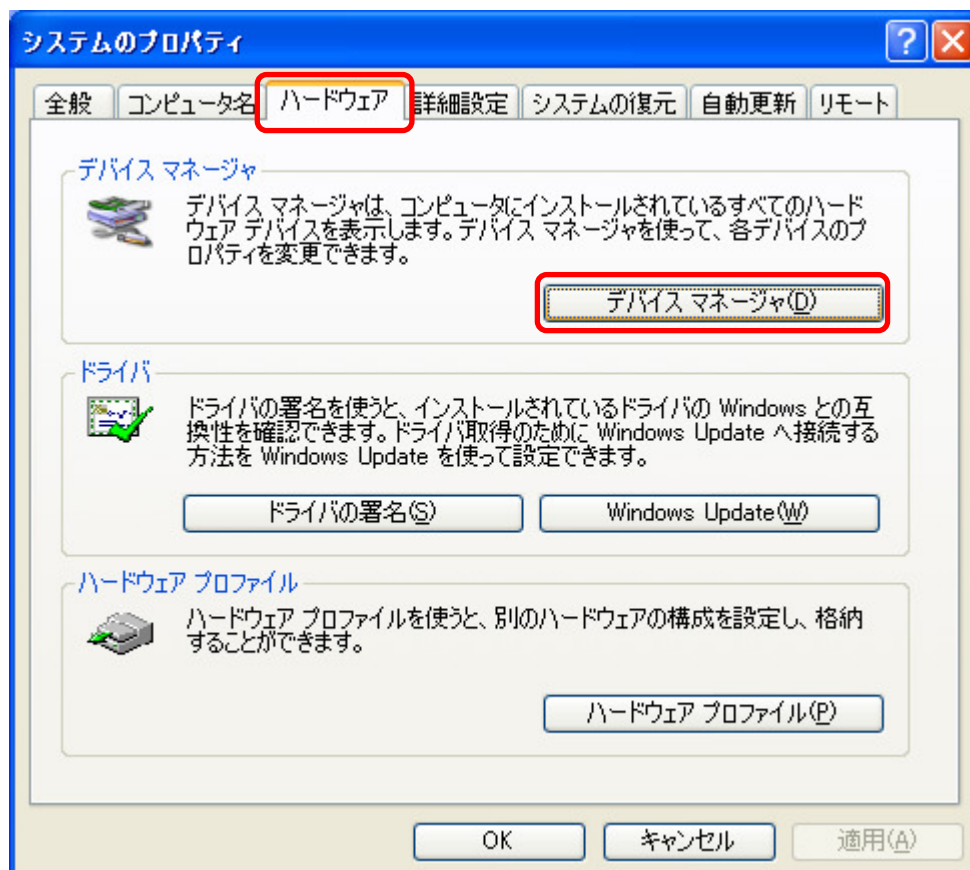
## 4 ドライバの更新

デバイスが手元にある場合は、デバイスを PC に接続します。

「スタートメニュー」→「マイコンピュータ」を右クリックし、プロパティを選択します。

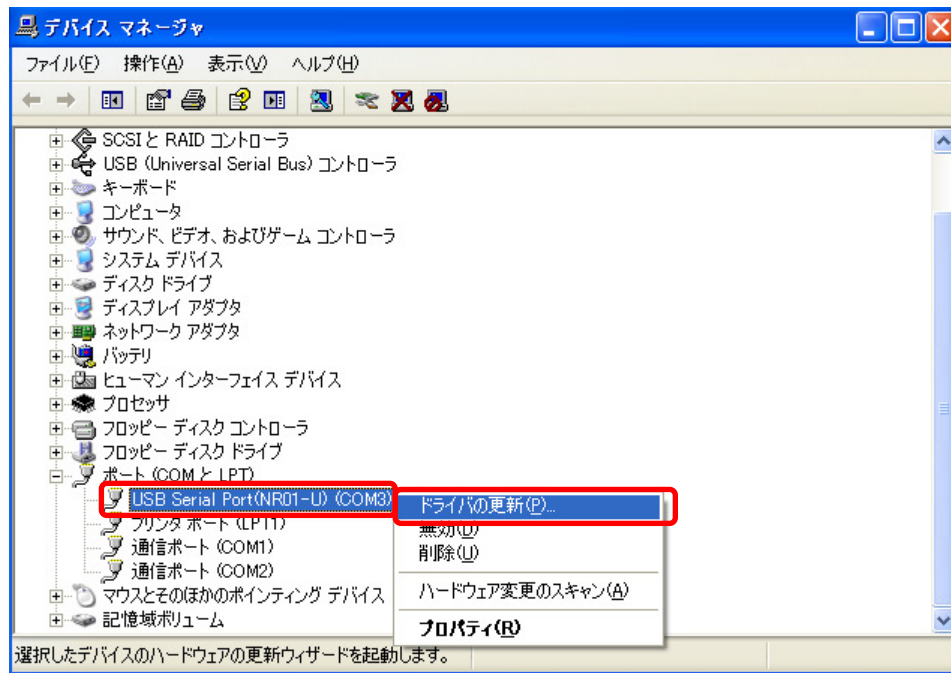


システムのプロパティのウィンドウで「ハードウェア」タブを選択し、「デバイス マネージャ」ボタンをクリックします。

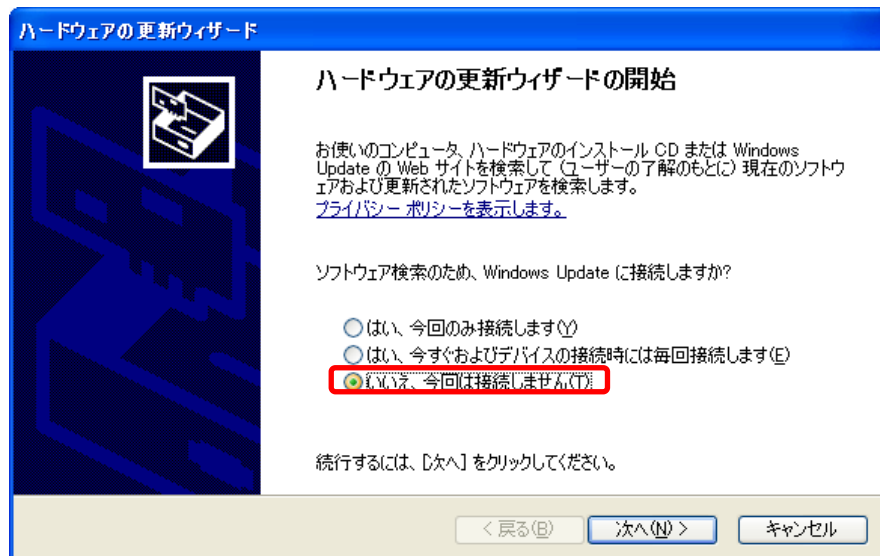




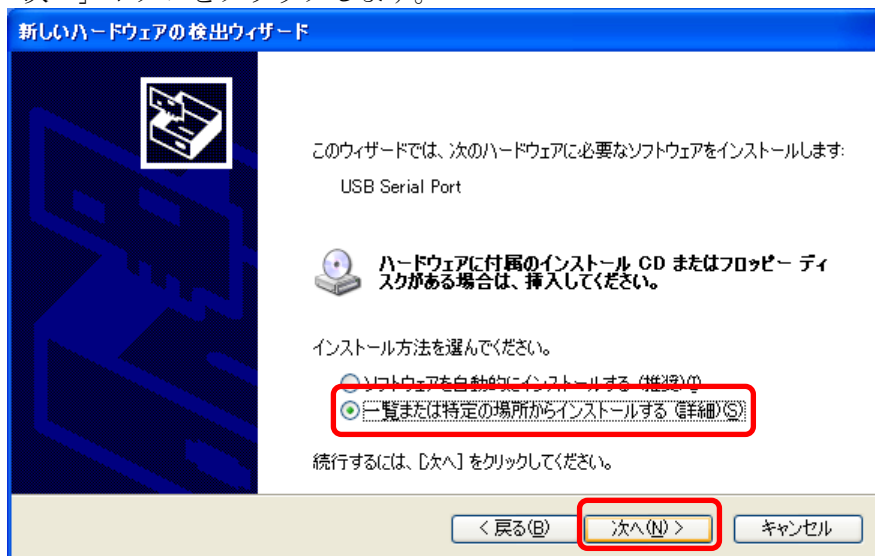
「ポート(COM と LPT)」をダブルクリックし、リストを展開します。  
更新したい COM ポートを右クリックし「更新」を選択します。  
※COM ポートはインストールした環境によって変わります。



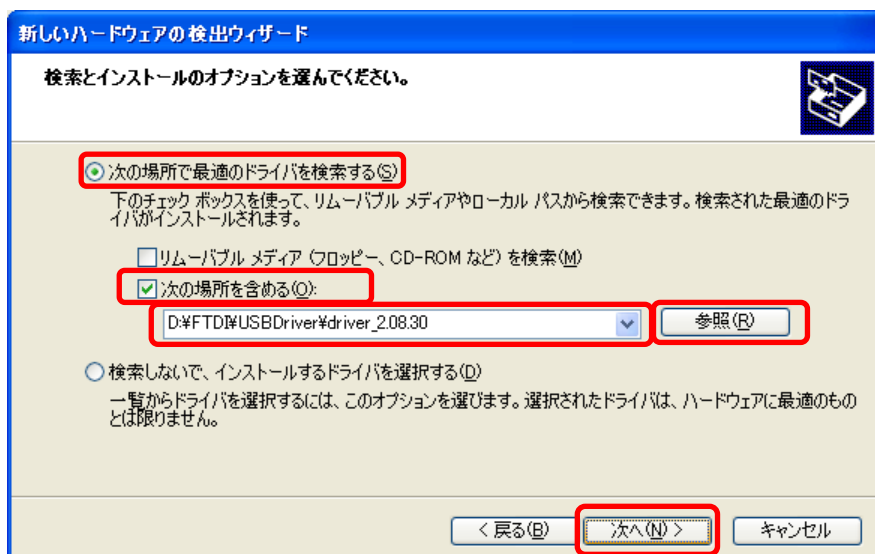
出てきた画面で「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



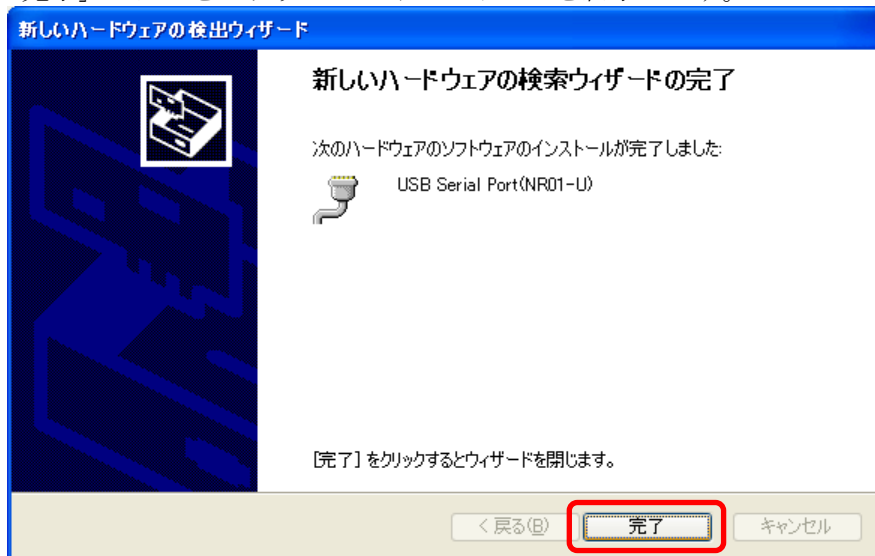
出てきた画面で「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



出てきた画面で「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、「次の場所を含める」のチェックボックスにチェックを入れ、「参照」ボタンを押してドライバのあるフォルダを指定します。CD-ROM 内のドライバの位置は、「FTDI¥USBDriver¥driver\_2.08.30」以下に入っています。「次へ」ボタンをクリックします。



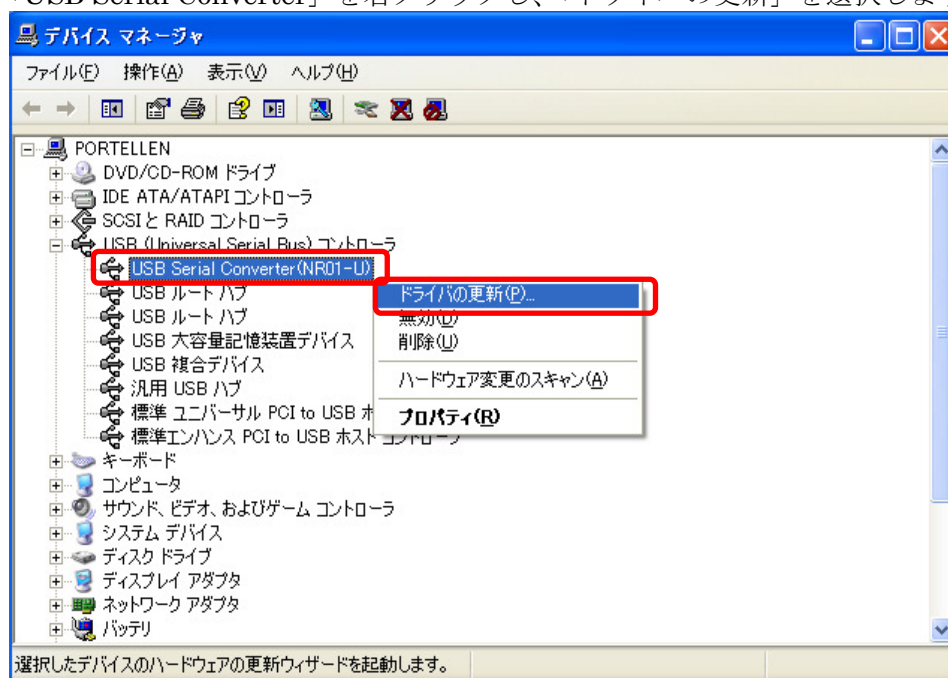
ドライバのインストールに成功すると次のような画面になります。  
「完了」 ボタンをクリックしてインストールを終了します。



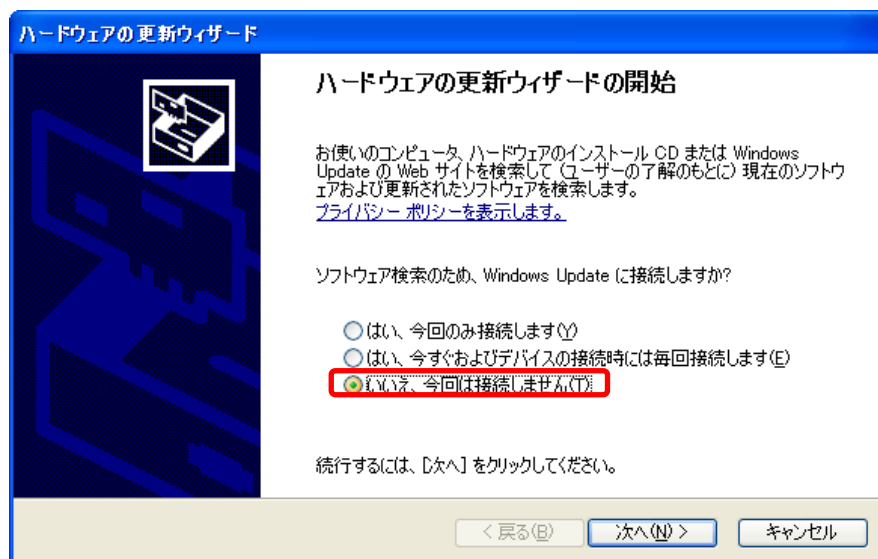
ここまでで、仮想 COM ドライバの更新は完了しましたが、ダイレクトドライバの更新がまだ終わっていません。

続いてダイレクトドライバの更新を行います。  
更新方法は仮想 COM ドライバと同じです。

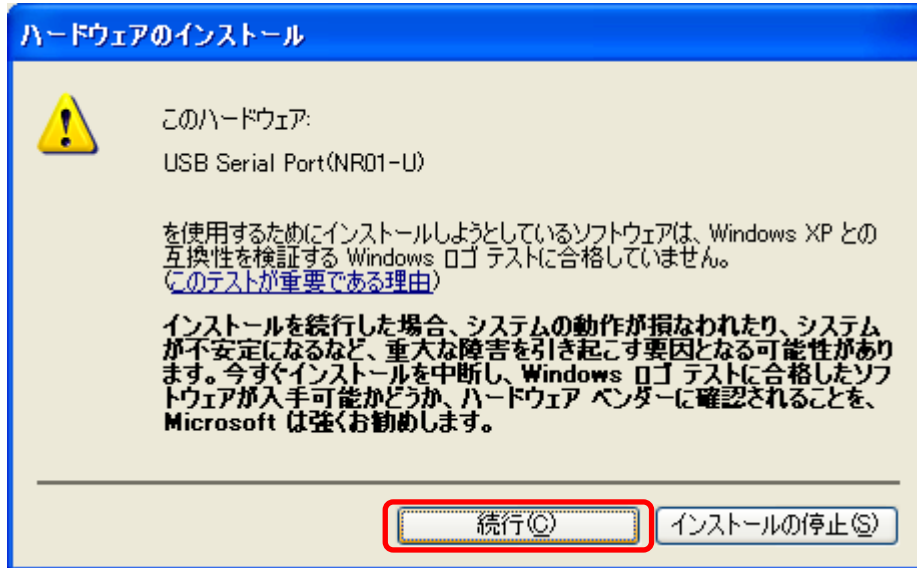
「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」をダブルクリックし、リストを展開します。  
「USB Serial Converter」を右クリックし、「ドライバの更新」を選択します。



出てきた画面で「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



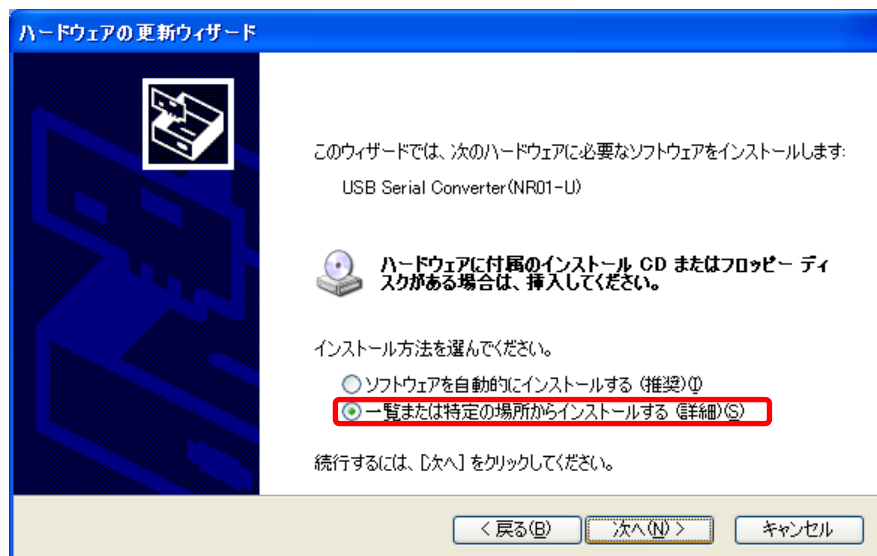
以下のような警告メッセージが出た場合は「続行」ボタンをクリックしてください。



必要なドライバファイルのコピーが始まり、次の画面が表示されます。

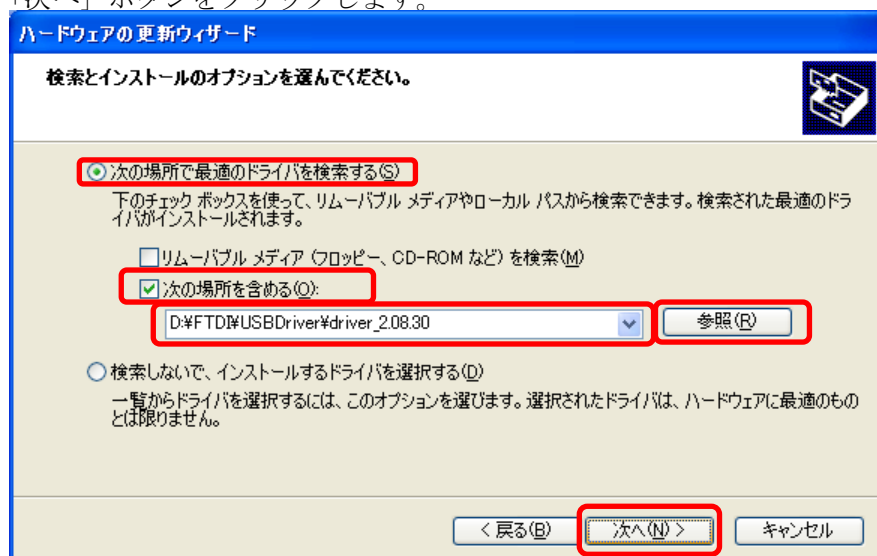


出てきた画面で「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

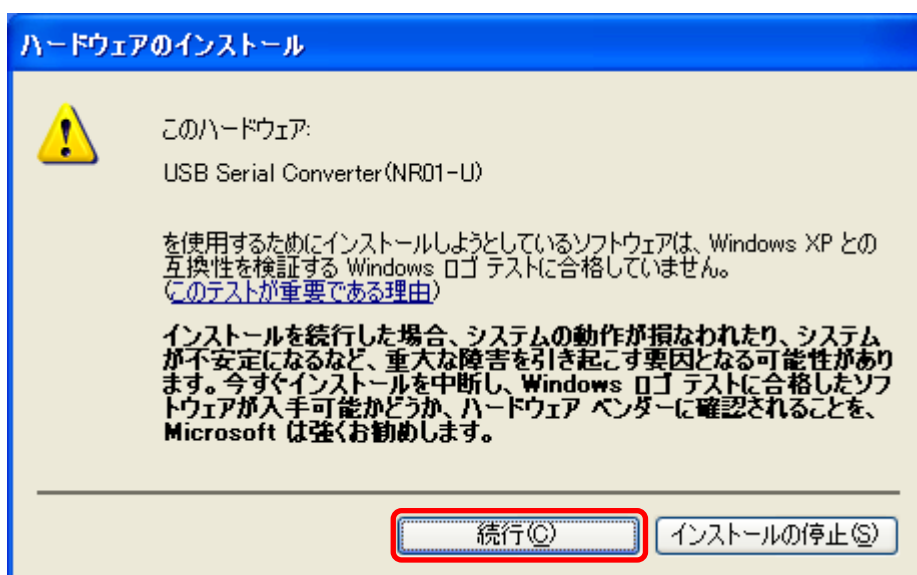


出てきた画面で「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、「次の場所を含める」のチェックボックスにチェックを入れ、「参照」ボタンを押してドライバのあるフォルダを指定します。

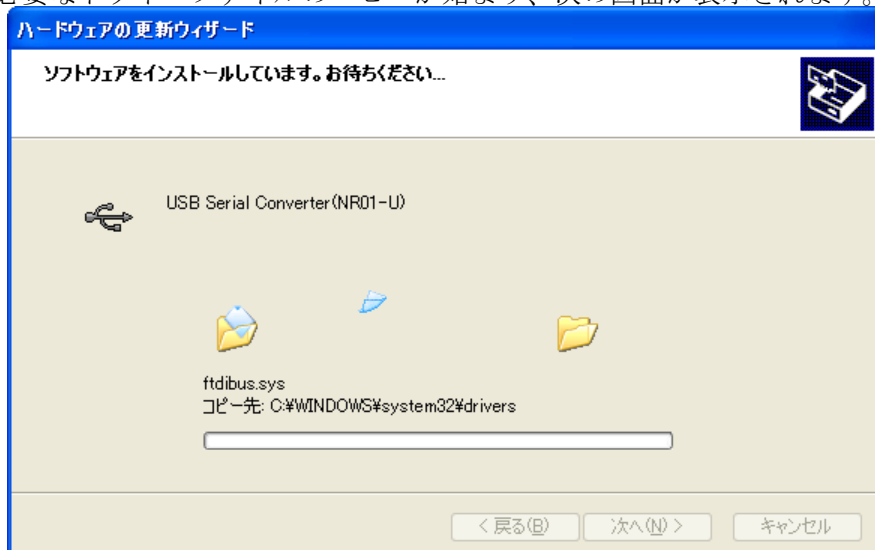
CD-ROM 内のドライバの位置は、「FTDI¥USBDriver¥driver\_2.08.30」以下に入っています。「次へ」ボタンをクリックします。



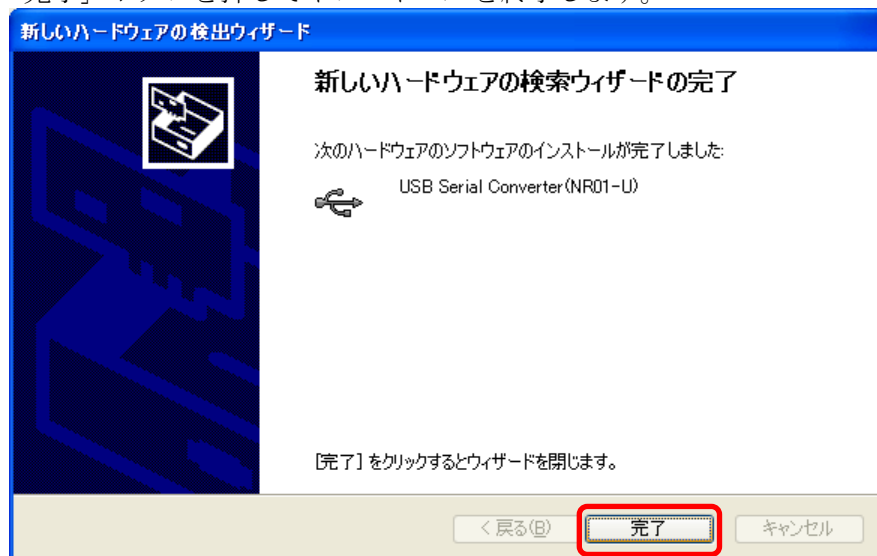
以下のような警告メッセージが出た場合は、「続行」ボタンをクリックしてください。



必要なドライバファイルのコピーが始まり、次の画面が表示されます。



ドライバのインストールに成功すると次のような画面になります。  
「完了」ボタンを押してインストールを終了します。



以上で、ドライバの更新が完了します。  
更新は PC の再起動後に有効になります。

更新したいデバイスが表示されない場合は  
「5 削除／更新したい COM ポートが表示されない場合」を参照してください。



## 5 削除／更新したい COM ポートが表示されない場合

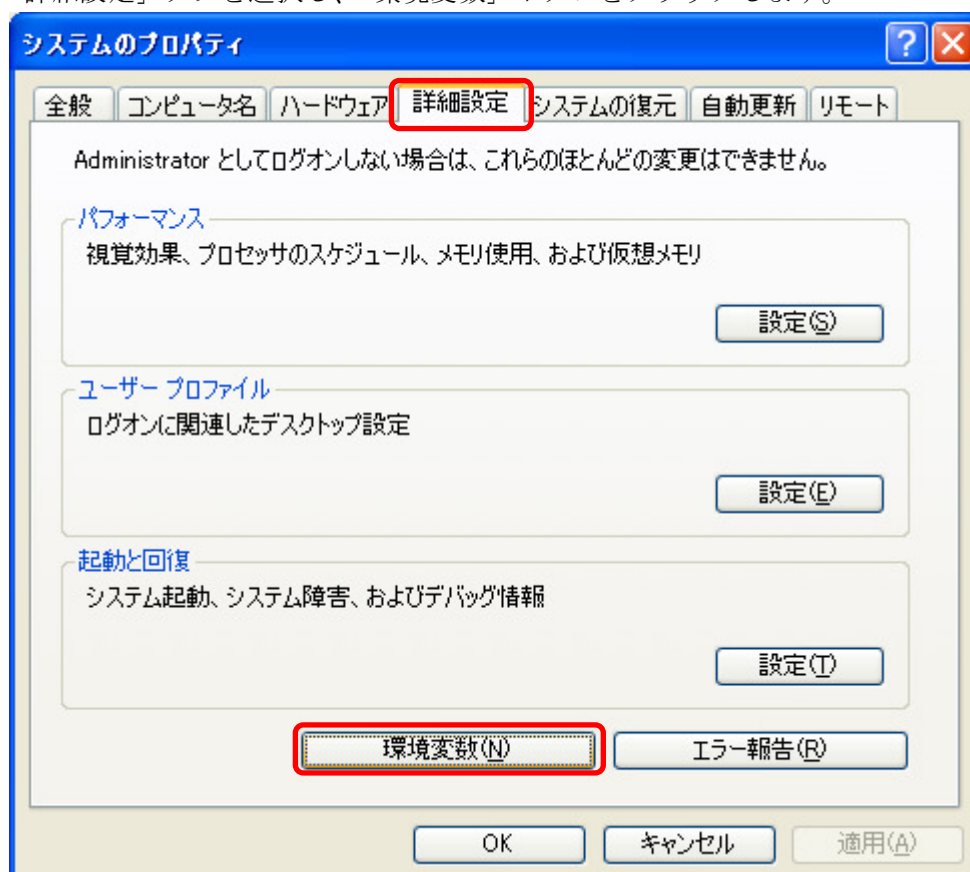
デバイスマネージャ上に削除／更新したい COM ポートが表示されない（リーダーライターが接続されていない）場合はアンインストール前に次の作業を行います。

「スタートメニュー」→「マイコンピュータ」を右クリックし、プロパティを選択します。

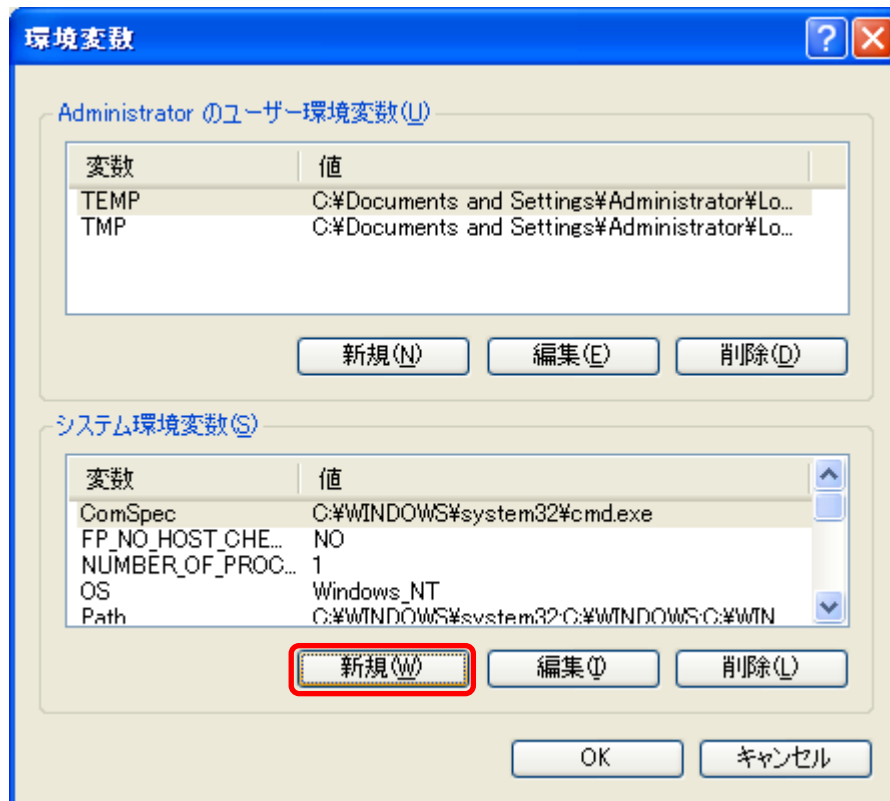


出てきたシステムのプロパティのウィンドウで

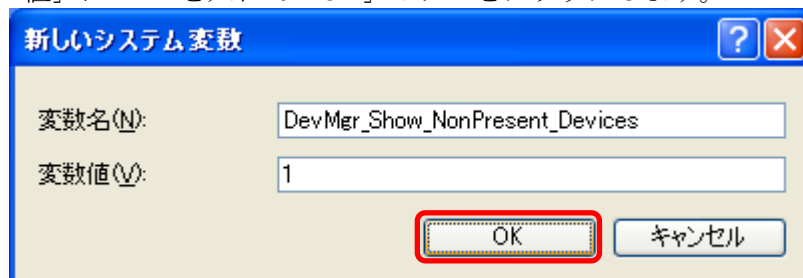
「詳細設定」タブを選択し、「環境変数」ボタンをクリックします。



出てきたウィンドウで「システム環境変数」の「新規」ボタンをクリックします。



出てきたウィンドウで「変数名」に” DevMgr\_Show\_NonPresent\_Devices”  
「値」に” 1”を入れて「OK」ボタンをクリックします。



「デバイス マネージャ」の「表示」メニューの  
「非表示のデバイスを表示」をクリックして、チェックを入れます。

